

ドングリ みわけ図鑑

きょうと☆
いきもの調査

トゲトゲぼうしのなかま

ゴツゴツしている
ぶあつ
分厚い

トゲが

はり
針のよう

ペラペラしている
うす
薄い

アベマキ
落ち葉の裏面は白っぽい

クリ
葉のギザギザはふちまで葉の色がある

柏餅の葉っぱに使われる
カシワ
先が細く長く伸びる

葉のギザギザはとげの先まで葉の色がない
クヌギ
落ち葉の裏面は白くない

ピスタチオ ぼうしのなかま

ドングリが

まる
丸い

上から見るとさんかく
なが
長い

ほそなが
細長い

さんかくすい
三角錐

葉の裏には毛がたくさん！
イヌブナ
実ははずれていることが多い

どちらも山地で見られる
イヌブナより大きい

みじか
短い

ツブラジイ
表裏
スタジイの葉より小さめでやや薄い

ドングリが生でも食べられる

葉っぱでかてか！
ブナ
葉に毛はほぼない

葉に毛はほぼない

ぼうしにえ
ついた柄が

☆ みわけポイント ☆

- 1 ぼうし(殻斗)をチェック!
 - 2 大きさ、形をチェック
 - 3 葉っぱをチェック
- ちか
ドングリの近くに
お落ちていよ
- かくと
ぼうし(殻斗) →
- けんか
ドングリ(堅果) →

ウロコぼうしのなかま

らくようじゅ
落葉樹
秋に葉を落とす木

じょうりくじゅ
常緑樹
1年中葉を落とさない木

ココ

へこむ
かたち
ドングリの形が

へこまない
ぼうしのウロコが

ちい
へいめん
小さく平面

おお
りったいてき
大きく立体的

シマシマ ぼうしのなかま

ぼうしにけ
毛が

めだ
目立たない

めだ
目立つ

葉の裏面は黄褐色
イチイガシ
ドングリに縦縞が目立つ
毛が目立つ

生垣などにもよく使われる
アラカシ
この辺りが一番太い

シラカシ、ウラジロガシより幅広
葉裏は少し白い
ツクバネガシ
ドングリに縦縞が目立つ
柄が短い

葉裏は黄緑
葉はアカガシの方が大きい
ウラジロガシ
葉のふちは触ると痛い
葉の裏白い

葉裏は緑
波打つ
アカガシ
長い

まる 丸い シリブカガシ

カーブしている
葉の表面凸凹目立つ

白いうろ状のものがドングリに付く

ながぼそ
長細い

ずんどう
マテバシイ
ドングリは食べられる
8-25cmほど

小型。2.5cm未満
コナラ
丸っこいもの、長細いもの、形は様々

ナラガシワ
柄は2-3cm

備長炭の材料になるよ
ウバメガシ
柄に毛がある
葉は枝先に集まって付く

形はコナラに似ているが、一回り大きい
ミズナラ
柄はほぼない

きょうと☆ いきもの調査 みんなでドングリを調べよう！

第1弾

きょうと生物多様性センターでは、身近な自然環境の現状を把握することを目的に、第一弾としてドングリをテーマに住民参加型の生物調査を実施します！

「ドングリ」とは？

ブナ科というグループの木の果のこと指し、クヌギ・クリ・アラカンなど多くの種が知られています。山間部だけでなく、公園や道路沿い、住宅の庭など様々な場所で目にすることが出来るため、なじみのある方も多いのではないのでしょうか。京都府内には、20種以上のドングリが生えていることが分かっていますが、京都全体ではどのような場所にどのような種類が生えているかなど、詳細が分かっていないことも多くあります。

調査対象種

府内で見られる
ドングリの仲間



報告内容

見つけたドングリ・月日・場所
(任意：写真、気付いたこと)
(例：昨年と比べてドングリが少ないなど)

報告いただいた内容はセンターで
取りまとめ、HPなどで公開します！

調査期間

令和5年10月
～令和5年12月

報告方法

ポータルサイト
「京・生きものミュージアム」上で報告
(<https://ikimono-museum.city.kyoto.lg.jp/report-donguri/>)

—お問合せ—

きょうと生物多様性センター
Tel: 090-4496-3887

Mail: contact@kyotobdc.jp



◀HP



◀X(旧Twitter)



お寄せいただいたドングリ情報は、
随時 HP にて公開中！